



高く築いたタワーにペットボトルを載せていく生徒たち

県内の中高生が科学

サイエンスチャレンジ岡山

天城高チーム優勝 来春全国大会に出場

の知識や技能を競う「サイエンスチャレンジ岡山2022」(県教委主催)が19日、倉敷市松島の川崎医療福祉大で開かれ、天城高のチーム・エンライトメントが優勝した。来年3月に茨城県である「第12回科学の甲子園全国大会」に岡山県代表として出場する。

29校から1チーム6〜8人の計38チームが出場。物理、化学、生物、地学、数学、情報の6分野で筆記問題に挑み、実技などの合計点を争った。紙とクリップでタワーを築く実技では、高さだけでなく、頂上に

水の入ったペットボトル10本を載せられるかを競った。生徒たちは紙を丸めたり、折ったりしながら強度や安定感を工夫していた。他の上位チームは次の通り。

②クラウラック(岡山白陵高) ③たいやきは塩派デラックス(大安寺中等教育学校)
(山内悠記子)